

第36回高知県公立大学法人評価委員会 議事要旨

日 時：令和4年7月22日（金） 14：00～16：30

場 所：高知会館 3階 飛鳥の間

参加者：評価委員：森下勝彦委員長、宮田速雄委員、寺田覚委員、井瀬潔委員、
（オンライン参加）菱沼典子委員

高 知 県：岡私学・大学支援課長、大窪課長補佐、竹本チーフ、中平主幹
高知県公立大学法人

（法人本部）：伊藤理事長、原本部長、福田副本部長、青木財務部長、
島田総務企画課長

（高知県立大学）：野嶋学長、中野副学長、国則事務局長、竹崎事務局次長、
大野事務局次長、宮脇総務部長、山下財務施設課長

（高知工科大学）：磯部学長、蝶野副学長、上田事務局長、谷本事務局次長、
福留総務部長、小林財務課長

委員長	令和3年度業務実績報告書の全体概要及び高知県立大学の教育・研究・社会貢献の部分について、高知県公立大学法人から説明をお願いします。
法人本部	・・・説明・・・
高知県立大学	・・・説明・・・
委員長	ただいま説明があった内容に対して、質問があればお願いします。
A 委員	P35 地域共生推進士をもう少し増やせるような取組をしてはどうかと思うが、難しいのか。
高知県立大学	増やしたい想いはあるが、今はコロナ禍で地域での実習ができないことや副専攻のプログラムであるため、難しさはある。だが、ご指摘のように、できるだけ多く地域共生推進士を育成できるように努力したいと思っている。
B 委員	高知県立大学出身の方に、地域共生推進士は取ってないか聞いても、取っていないと言われる。
高知県立大学	地域共生推進士は、1～4回生までの継続した4年のプログラムであるため、4回生は国家試験や就職試験などの準備もあり実習に行きづらくなる。しかし、地域に関心のある学生が育ってはいる。
B 委員	できれば、多くの方に取って欲しい。
A 委員	P37 卒業時ディプロマ・ポリシー達成度調査について、下から6行目の看護技術到達度2.51が、これだけ低いように感じるが、この項目は大学にとって意味のある項目だと思うが、どうか。
高知県立大学	認識的には、特段低いとは思っていなかったため、再度確認する。どこにゴールを置くかで評価は変わってくる。卒業と共に達成できるのがどこまでなのか、それを確認する。
A 委員	P38 学修時間について、1単位は、自習時間と授業時間を合わせて45時間勉強しなければならないとなっている。アンケートには、どのぐらい勉強したか、時間が記載されるかと思うが、45時間以上勉強しているかを調べてもいいかもしれない。

高知県立大学	45 時間はかなり厳しい。学生が 1 週間のうち、どのぐらい自己学習をしているかという項目はある。
A 委員	科目ごとではなく、1 週間で何時間学習をしているかという聞き方なのか。
高知県立大学	そのとおり。各科目では 3 時間ほどである。
A 委員	P87 科研費について、特筆すべき事項に IoP が記載されているが、規模が大きい事業のため書かれている気がする。学校の特性に近いものを記載したらいいと思う。
高知県立大学	IoP は特筆すべきものと考えており、当大学としては高付加価値化プロジェクトに貢献している。
A 委員	年度計画に対して、どのように上回ったか、なぜ S 評価なのかが分からない。
B 委員	数値目標がないため、分かりづらい印象はある。
	P34 文藻外語大学（台湾）に学生を派遣を開始したとあるが、台湾へ派遣できたのか。
高知県立大学	そのとおり。
B 委員	P89（イ）ニラの商品化することに取り組んだとあるが、実際に商品化はできたのか。
高知県立大学	スーパーなどで市販されている物の中で、高知家のロゴと栄養機能食品と記載されているものがそれである。
B 委員	県内だけなのか。
高知県立大学	そこは不明である。
委員長	それでは続いて、高知工科大学の教育・研究・社会貢献について、高知工科大学から説明をお願いします。
高知工科大学	・・・説明・・・
委員長	ただいま説明があった内容に対して、質問があればお願いします。
C 委員	社会貢献に関して、民間との連携も多く S 評価なのは納得なのだが、IoP は、県大との連携はないのか。
高知工科大学	先生方の間では連携している。研究のプロジェクトでは、共同で行う必要性がまだ発生していないため、連携はしていない。
C 委員	高知工科大学の場合は、貢献できるものがあると思うが、高知県立大学はどのように貢献しているのか。
高知県立大学	研究グループは、情報のプラットフォームや、野菜の栄養素の調査、特定機能性食品にどのように付加価値を付けるかなど、いくつかに分かれている。研究者全体の会議ではお互いの情報は共有している。
A 委員	P58-59 工学系共通科目について、入学する学生の 2 割ぐらいが受講しているのか。
高知工科大学	14 科目設定しており、材料力学や流体力学などから始まり、経営学や経済学の基礎を学ぶ。14 科目全部を学ぶわけではなく、その中から選んで受講する。本学は必修科目を設けていないので、自分の興味や必要に応じて受講していただきたい。変わっていく社会に対応するために基礎の原理を理解して欲しいと考え、このような科目を用意した。
A 委員	専門科目に進む前の基礎科目かと思っていたが、電気の学生も化学を勉強するようという科目なのか。

高知工科大学	そのとおり。
A 委員	今はダブルメジャーを目指せと言われているため、とてもいい取り組みだと思う。 P105 地域の活性化について、フューチャーデザイン 2050 の高知県の将来像とはどのようなものなのか。
高知工科大学	具体的な提言内容は聞いていないため答えられない。ワークショップでの発言や提言がどのようになったかまでは把握していない。
A 委員	できればHPなどに掲載して欲しい。その下の DX に関する相談とはどのような内容があったのか。
高知工科大学	具体的な内容ではない。本県の場合は、そもそも DX とは何か？何ができて、どうしたら成果が得られるかなどの相談がほとんどである。
高知工科大学	フューチャーデザイン 2050 について、補足する。報告書はHPに掲載している。 (5分間休憩)
委員長	第3以降の部分について、法人本部から説明をお願いします。
法人本部	・・・説明・・・
委員長	ただいま説明があった内容に対して、質問があればお願いします。
D 委員	P131 (1) 資金収支等を把握するには至らなかったとは具体的にどういうことか。
法人本部	学生寮について、工科大は9月、県立大は3月に完成したため、翌年度以降の収支予測ができなかった。
D 委員	P137 で、県大は3月完成4月供用開始、工科大は7月完成9月供用開始とある。収支をつかむ場合、工科大は9月から3月まで7ヶ月間で把握できるのではないか。また、県立大は3月完成、令和4年4月から供用開始のため、計画の段階で収支の把握は困難だったのではないか。
法人本部	元々学生の入居状況は考えておらず、部屋数によって、予算の収入の把握が可能と考えていたが、光熱水費などを寮費に含めるなどは把握できてなかったため、翌年度に活かせるだけのデータを集めることができなかった。
D 委員	令和4年度の予算で考えているのか。令和3年度の実績に基づくのではないか。
高知工科大学	新高そね寮に関しては、留学生メインの寮で、昨年度の後半は留学生も来日できるかと思っていたが、来られなかったため、入居ができず把握できなかった。
D 委員	高知工科大学は了解した。 高知県立大学は、供用開始が4月のため、令和3年度予算の段階では実績までは予測できないと思われるため、質問した。
	P145 エネルギー消費について、大学の記載では、年度計画が達成できているように見えたが、実績は今年の8月にならないと分からないということは、エネルギー消費指数は1年遅れるのか。そのためB評価なのか。
法人本部	B評価なのは、上段に対する達成見込みがないため。国からの報告が次年度の8月頃である。
D 委員	P131 (1) 今後の基準財政需要額とは何か。また、財務状況は、実際に共有し活用されているのか。
高知工科大学	基準財政需要額とは、国が試算した学生一人当たりの単価のこと。これに学生数を掛けたものを元に県から交付金がもらえる。その基準となる数字。その単価が下がっているため、大学への交付金も下がっており、その傾向をみて、収支を見ている。

	共有してるかというのは、学長や局長には共有している。全学に公開はしていないが、予算をどのように考えるかを検討している。
高知工科大学	それを元に職員会議で、次年度の予算を計画する段階での収支見込みを立てるために使用している。
B 委員	P136 一部減額とはなぜか。
事務局	県から説明する。中長期修繕計画の全てに対応できる財力が県にはなく、毎年財政課と交渉する中で、緊急の部分だけ認められているという状態である。
B 委員	中長期修繕計画を認めているわけではないのか。単年度で検討しているのか。
事務局	修繕計画はいただいているが、計画通りに全て認めるというものではない。
B 委員	P139 段差の事故について、これは施設に問題があったのか。原因は何か。
高知県立大学	普通に通る分には問題ないことは確認しているが、職員の不注意で事故が起きた。そのような場合でも事故が起これないように至急対応した。
B 委員	これはヒューマンエラーということか。それならば、再発防止策はどのようにするのか、改修工事を行うのか。
高知県立大学	調査をして地盤沈下が起きていることがわかり、どのぐらいの状態かは、今年度調査をしつつ、安全確保を行っている。今回のことは、必ずしも人為的な原因ではないと受けとめている。安全確保には努力する。
C 委員	P30 酒気帯びの有無を確認する～周知準備を行ったとあるが、具体的に何をやったのか。
法人本部	具体的には、令和4年4月からアルコールの有無の確認が必要となり、その確認方法をアルコールチェック機を使用するのか、対面で行うのかという問題があった。休日に業務で公用車を運転する場合にも、チェックをしなければならぬため、その体制をどうするかという検討をした。
法人本部	公用車を5台以上所有する事業所は、車に乗る前に酒気帯びではないことをチェックをしなければならなくなった。チェックは、実際に電話などで確認するように定められており、4月1日の施行日までにその体制を整えたということである。来年度の実績報告の際には、このように取り組んだという報告をするようになると思う。
C 委員	実際にできるのか。
法人本部	秋にはアルコールの検知計を使用してチェックするよう義務付けされるため、やらないといけない。
E 委員	年度計画の書き方について、お願いがある。内容があまり具体的ではないので、SやAなどの判断が難しい。年度計画では、大学がやることを明確に示して欲しい。
	P63 学位申請者延べ18人のうち15人に学位授与とあるが、実質15人だったということか。
高知工科大学	最初の評価基準について、具体的な指標に基づいて、統一したものを検討するよう取り組んでいきたい。
	学位申請については、18人申請したが、途中段階で15人になった。どこで何人落ちたかは、手持ち資料はなく不明である。
E 委員	18人から15人になったのは、プロセスの中でということか。
高知工科大学	そのとおり。

E 委員	P141 防災訓練について、回収率が70~80%と低いように思う。回収率が上がるようにお願いしたい。
高知工科大学	上げるように努力する。
高知県立大学	低い回収率については、深刻に受け止めている。
委員長	次に、決算の概要について、法人の説明をお願いする。
法人本部	・・・説明・・・
委員長	ただいま説明があった内容に対して、質問があればお願いします。
D 委員	法人全体で2億円の黒字となっているが、収益が増加した要因はなにか。収入が増えたのか、支出が減ったのか、会計的な要因か。
法人本部	全ての要因が重なっている。令和2年度の赤字を埋める必要があったため節約もしている。
高知工科大学	一昨年度はコロナのため情報システムの容量を上げる必要があり、予算外だったが対応したため赤字が発生した。その赤字を埋めるために、昨年度は新規案件はやらず、教員にも節約をお願いした。また、コロナが収まる予定で海外旅費を取っていたが、結果、収まらず、海外旅費が余ったことなどが、高知工科大学の要因である。
高知県立大学	高知県立大学では、コロナで物品の調達や施設の発注等の調整が付かず黒字となった。これらは今年度に対応しなければならない。
B 委員	準職員から正職員に移ったわりには人件費が変わっていない。ベースは変わらないのか。
法人本部	トータル的には毎年それほど変わらない。変わる要因としては退職金である。
委員長	次に、第2期中期計画の変更について、法人の説明をお願いする。
法人本部	・・・説明・・・
委員長	ただいま説明があった内容に対して、質問があればお願いします。
	高知県公立大学法人による説明と質疑応答は以上とする。
	・・・法人退席・・・
委員長	高知県公立大学法人の業務実績報告書、決算の概要及び第2期中期計画の変更について、意見・質問あればお願いしたい。
委員長	特に質問がなければ、本日の会はこれで終了とし、司会を事務局へお返しする。
事務局	次回の評価委員会では、評価書(案)と第3期中期目標案について、審議をお願いする。第37回評価委員会は8月24日(水)の14時30分からこちらの高知会館4階の「やまもも」にて開催する。
B 委員	会では質疑応答を充実させたいため、説明の簡略化をお願いしたい。
事務局	承知した。改善する。
A 委員	定員の話を知りたかった。学校の定員を変更する考えはないのか。定員に大学の思いがあると思うが、こういう質問はどこで聞けばいいのか。
B 委員	スケジュールにその他の質問という項目を追加してはどうか。
事務局	説明時間を短くするとともに、その他の項目を質問できる時間を設けるようにする。

----- (終 了) -----